

令和6年度学校評価報告書

令和7年（2025年）3月24日

北海道教育委員会教育長 様

北海道美幌高等学校長 川 添 雅 文

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

1 地域・社会の信頼と期待に応え、コミュニティ・スクールを活用した地域とともにある学校づくりを進める
2 組織的な研修体制の確立により、教職員の専門性・力量の一層の向上を図る
3 働き方改革を推進するため、組織的協働体制（チーム制）の確立と実践内容の定期的な点検と評価、改善、引継ぎを進める

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導 ・ 進路指導	各領域の中で、学習指導が昨年度に続いて最も評価の低い結果となった。特に主体性を伸ばす研究と共に、家庭学習習慣の定着を促している項目がと最も低い結果となった。	ICTの活用、主体的な進路実現、職業観を高め資格取得や試験対策に向けて取り組んでいる点に高い評価を受けた。 一方で家庭学習習慣の定着、保護者等や関係機関との情報交換については低い評価となった。
改善方策	将来に対する目標を持つ生徒が少ないことや、家庭学習に関わる指導に関して数値が低めになっていることと関連するものと思われる。今年度から始めた考査廃止に関わる分析を行いながら、引き続き、学習に関わる取り組みを充実させていく必要がある。	
生徒指導 ・ 健康・安全 指導	各領域の中でも、生徒指導が最も高い評価となった。特に、いじめの未然防止に関わる「生徒の悩みや不安を迅速に受け止め、対応している」評価が高く、組織的に対応している状況が反映されている。また、健康・安全指導も高い評価となっている。	物事の善悪の判断、自己管理意識を高める取組や、生徒理解と信頼を高め、適切な教育相談、連携を強化している点について高い評価を得た一方、支援を必要とする生徒に、計画的、組織的に取り組んでいる点については、内容の理解が進んでいないことが分かった。
改善方策	支援の必要な生徒への取り組みについて、特別支援委員会を通じきめ細やかな指導を行っていく。生徒の様子を観察する中で「いじめ見逃しゼロ」を継続していく。	
地域と繋がる学校 組織運営	資質向上に関する評価が最も高い。法令遵守に基づく教育公務員としての自覚をもった業務遂行を引き続き行っていく。 一方、組織運営が最も評価の低い結果となった。特に「方針に基づく部活動運営や分掌業務の平準化やスリム化を意識しながら取り組むなど、業務改善を推進している」の評価が低かった。	地域との連携、協働や、外部の人的、物的な教育資源を積極的に活用している点について高い評価を得た。 一方授業参観、広報等で信頼を構築している点、初任層教職員等に対するOJT・PDCAマネジメントサイクルの機能活用については課題として低い評価となった。
改善方策	チーム制2年目になり、チームとして機能している分掌と、個々人の教員の力量に頼る分掌が出てきている。引き続き業務の平準化を行っていく必要があるが、そのためには「業務の見える化」と、行事等における協力体制を充実させていく必要がある。	
公表方法	本校ホームページに掲載する。	

3 添付資料

学校評価（自己評価・関係者評価）